

事業の概況

◆ 事業方針 ◆

本年度は昨年からスタートした新3か年計画「ルネッサンス2006」の中間年度として協同組織金融機関の原点である「人間尊重に基づく経営の実践」を計画理念に掲げ、その具体的な展開にあたっては「課題解決型金融の強化」「協同組織金融の浸透」「持続可能で安定的な収益の確保」という三つの基本方針のもとに「お客様よし」「地域社会よし」「信用金庫よし」の三方よしの好循環経営の確立を目指して参りました。

◆ 業績 ◆

当期の業績につきましては、預金は期末残高で前期比16億4百万円増の682億28百万円、伸び率2.40%平残伸び率でも2.00%と「プレミアム」シリーズの特別金利定期預金が好調で順調に推移いたしました。平残での地区内シェア(占有率)は33.60%と0.26ポイント上昇しております。

預かり資産残高はサブプライム問題による金融市場への影響から17億36百万円と前期比1億54百万円の増加にとどまりました。

融資は期末残高で前期比2億7百万円減の344億74百万円、伸び率 0.59%平残伸び率は 0.66%と、景気低迷が続く中、資金需要が低迷し、個人向け融資が団塊の世代の退職により退職金による住宅ローンの繰り上げ返済や、マイカーの買い換えサイクルの長期化や小型化による影響から前年比3.4%の減少となっており、平残での地区内シェア(占有率)は37.32%と0.41ポイント下落しております。

収益面では金利引き上げによる預金利息増加分を貸出金と資金運用の増収によりほぼカバーし、今期より税効果会計による繰延税金資産の計上をより保守的にいたしました。最終的に43百万円の利益計上となりました。

◆ 事業の展望及び当金庫が対処すべき課題 ◆

経営環境がますます厳しくなる状況下にあつて、地域経済の活性化に貢献するという信用金庫の使命を果たすことが、今まで以上に求められてくることを強く認識し、中小零細企業と住民の裾野を支える金融サービスを提供するために、常に顧客の要望に適切に応えられる専門的能力を身につけ、真に必要とされる金融機関となるために、更なる努力を積み重ねて参ります。

◆ 概要 ◆

名称 / 村上信用金庫
本店所在地 / 〒958-8601 新潟県村上市小町2番15号 TEL 0254-53-2181
店舗数 / 7店舗
創立 / 明治40年11月
業績 / 預金残高 682億28百万円 貸出金残高 344億74百万円
会員数 / 8,118人
出資金残高 / 3億84百万円
代表者 / 理事長 齋藤忠義
役員数 / 100人

平成20年3月31日 現在